

平成 2 4 年 度

# 事 業 年 報

滋賀県湖北健康福祉事務所

滋賀県長浜保健所

## はじめに

わが国の人口の高齢化は急速に進んでおり、超高齢社会を迎えようとしています。

湖北圏域においても、平成 25 年 7 月 1 日現在の高齢化率(県総務部推計)は 24.4%と県平均の 21.2%を上回り、県内でも高齢化の進んでいる地域となっています。

県が昨年 7 月に実施しました「医療福祉に関する県民意識調査」の結果を見ますと、全年齢を通じて約 7 割以上の方が高齢期の生活に不安を持ち、その 7 割以上の方は年金、介護、医療などの社会保障や自分の健康に大きな不安を感じています。また、「自宅で人生の最期を迎えたい」と思っておられる方が全体の約半数おられるものの、その多くの方が家族の負担や急変時の対応に不安を持ち、「自宅療養は実現困難」と思っておられます。

このことから、今後の高齢化の一層の進展を迎え、在宅療養を支える医療・看護・介護の連携の推進や、家族への支援などについて取り組んでいくことが必要となっています。

また、本圏域においても病院勤務医師の不足の状況があり、一部診療科の休止をせざるをえない病院もでており、医師、看護師の確保対策は喫緊の課題となっています。

一方で、コンビニ受診などが医療機関疲弊の要因の一つとなっており、救急のかかり方やかかりつけ医を持つことなど、住民とともに医療福祉資源を守り育てていくことが必要であり、このための啓発等が重要となっています。

これらを踏まえ、当所では医療福祉提供者側だけではなく地域住民も参加いただいた「地域から医療福祉を考える湖北地域懇話会」でご議論をいただき、今後 10 年を見通した地域の医療福祉のあり方について「湖北圏域医療福祉ビジョン」としてとりまとめました。そして引き続き「医療福祉を推進する湖北地域協議会」でご協議いただきながら地域での取り組みなどを進めているところです。

一方、地域の医療課題を解決するため、平成 21 年度に策定された滋賀県地域医療再生計画に基づく事業について、回復リハビリテーション病棟の整備や在宅医療推進の拠点となる長浜米原地域医療支援センターの整備、地域医療連携ネットワークの構築整備などを計画どおり進めることができました。平成 25 年度は計画最終年度であり、残された事業について関係者の皆様と協議をはかりながら円滑、適切に実施していきたいと思っております。

この「事業年報」は、平成 24 年度における管内の保健医療福祉に関する状況をとりまとめたものでありますが、多くの方に幅広くご活用いただき、事業の推進に役立てていただきませうようよろしくお願いいたします。

平成 26 年(2014 年) 3 月

滋賀県湖北健康福祉事務所(長浜保健所)

所長 苗村 光廣